

2026年度 運転安全マネジメントの取り組み

株式会社ゼロ・プラス西日本

代表取締役 池袋 修一

A

わが社は毎年度、運輸安全マネジメントにかかわる具体的な取り組み方策を定め社内に掲示します。

【安全方針】

- 1) 輸送における安全の確保が事業経営の根幹である事を深く認識をし、輸送の安全確保に努めます。
- 2) 現場からの安全に関する声に耳を傾け、現場の状況を十分に踏まえつつ、全従業員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底します。
- 3) 輸送の安全に関する計画を策定し、実行、チェックを行い改善する事（PDCA）を確実に実行し、安全対策を常に見直すことで、全従業員が一丸となって業務を遂行し、絶えず輸送の安全向上に努めます。

【活動方針/周知方法】

- 1) 「法令順守」と「安全の確保」に努め、社会的責任の重大さを認識し、全社員に徹底します。
- 2) 協見、ながら、あおり運転の根絶とバック事故撲滅、凡事徹底の遵守により事故防止を目指し朝夕礼点呼時や掲示板にて確認作業の重要性を周知徹底させる事と並行して添乗教育150%を目標に乗務員のスキルアップを目指す

【安全方針に基づく活動計画】

- 1) 各部署安全担当者、チーフパイロットとのBLK安全・品質会議を定例開催（月1回）
・・・部署間の安全活動に関する意見交換、安全衛生会議の事前打ち合わせを実施し事故抑止に繋げる。
- 2) 年間安全活動計画の実行と進捗確認・・・各部署安全活動共通項目（1366号準拠講習、添乗指導、作業観察）の計画進捗報告。

【安全に関する情報交換】

- 1) BLKの社長、管理部、各部署センター長、CPと本社安全衛生管理部との安全衛生会議を月1で開催し、前月の事故の振り返り活動報告、次月の安全活動方針を共有する。
- 2) 協力会社に対し、定例会議での協社会議（連絡会）でBLK安全・品質会議での内容、決定、指示事項。注意喚起を管理者へ水平展開
- 3) 安全担当者（管理者）は、従業員や協力会社からも含め、部署内での不安全情報を収集し、関係部署へ展開。毎月2回の事事故事例を各部署、各協力会社へ配布して類似事故防止へ努めさせる。